

目標達成計画

作成日：平成26年1月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	チーム全体が統一したケアを提供できていると言いがたい時がある。	職員個々のケアについて、その考え方の違いや意図を確認し合い、各々の利用者に対する関わり方の差異で生じる影響に気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ・統一したケアに向かう上で、課題や支障と思われる内容をチームで整理する。 ・比較的介護の比重が高い利用者(各棟1名から)について、今までとは違う観点を加えながら現状を見直し、ケアの統一化が利用者スタッフに及ぼす効果を検証する。 	3ヶ月
2	33	重度化および終末期のケアに対して、職員側の心構えや留意点、さらには関係者との連携内容を十分に整備する必要がある。	どの職員も、重度化および終末期のケアについて、より具体的なイメージが持てるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「死」をテーマにするなどして、個々の職員が抱えている不安や捉え方を収集する。 ・重度化および終末期のケアにおいて、職員間での価値観やニュアンスの違いなどを明らかにする。 ・「重度化の指針」の改定を検討する。 	6ヶ月
3	35	定期的を実施している避難訓練だが、実施内容が画一的である。	想定する災害状況の幅を広げ、職員と利用者の心構えが向上する訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害種別、時間帯や場所などを変えた想定で訓練を計画する。 ・任意の災害状況を提示して、どう動くかを机上訓練する。 ・利用者が参加する避難訓練を実施する。 	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。